テントを建てて「かんぱーい」どっと疲れました。北脇さんはぷらぷらしてたリアウインカーの修理をあっという間にこなしてました。みんな修理とかちゃちゃっと出来てすごいなぁと思います。

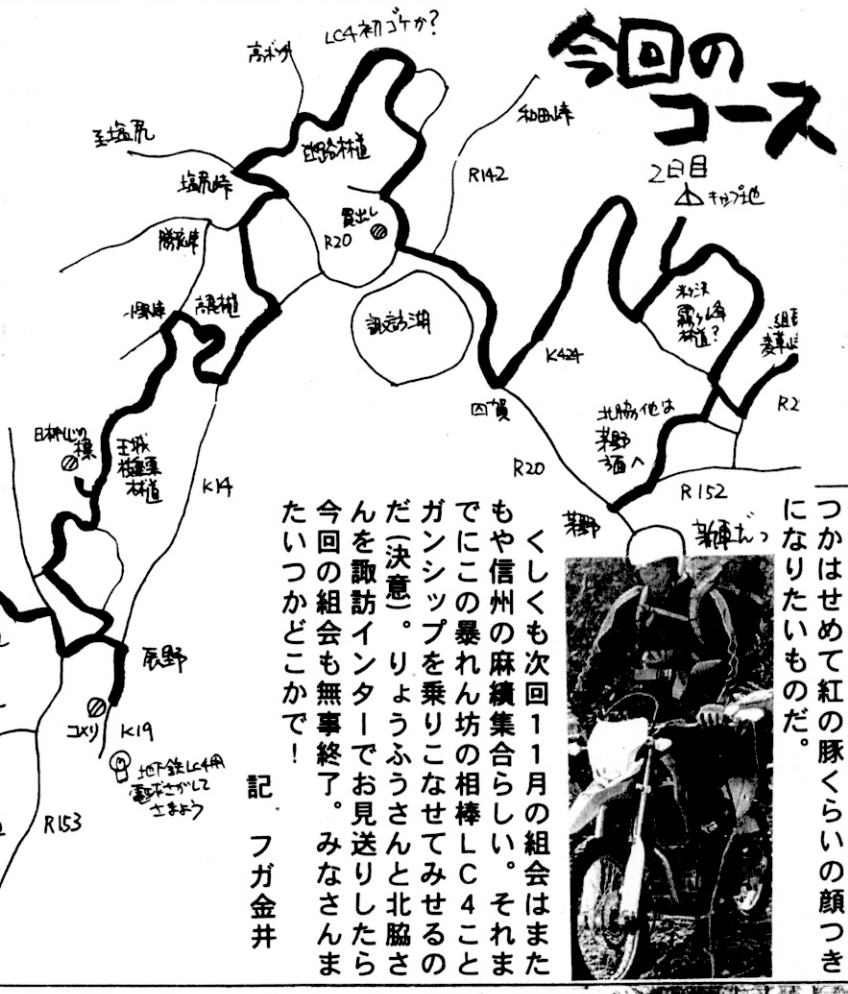
さてツマミレース、まずは開けただけの漬物とかコロッケとかがスタートダッシュを決めてきます。私はさしみこんにゃくで応戦するもゴ三浦さんは柚子みそが苦手だそうでやっぱり撃沈(笑)。この日も専らご相伴にあずかる私ですた。組長のすっぱい魚のマリネはおされさん。思わず♪マリネのへーやにー♪と口ずさんでしまいました。涼風さんとオガタさんは隣同士にらまんじゅうがカブッてしまいましたが、とっても美味しかったです。私はホントに疲労困憊で、お地蔵さん状態の組長と競いあうように歯みがきもそこそこ、おやすみなさいとなりました。さすがにグッスリ安眠、目覚めたのは翌朝5時でした。夜中だと思って目が開いてうつらうつらしながら時間を確認したら、朝だったとき、ちょっと嬉しくないですか？おさーんのみなさん(笑)。

9月23日　三日目

朝5時すぎ、組長はじめ組員の朝は早い。決して年寄りだからとは言ってはならない念のため(笑)。一見いつもの朝のように見えるが、組長は心なしかそわそわしているのではないかと思われる。きっとあまちゃんが気になっているのだろう。最終日の穏やかな朝日のもと我々は淡々とあさげを拵えていた。締め括りはやはりカジキの西京漬でキマリだ。昨日西友でがっつりキープしておいたのだ。組長はどちらかというとやまと的なスーパーを好むので、組会時になかなか西京漬をゲットする機会は少ないのだよヤマトの諸君。ともあれいつものように行平鍋で炊いたホカホカごはんの上に大好きなしらすをこれでもかと載っけてみる。普段の20倍はあろうかという贅沢ぶりだ。これでいーのだ！。これは旅行のだから。そこら辺の一般ぴーぽぅが箱根の温泉旅館あたりで上げ膳据え膳してると思えば、はるかに安いもんだ。あー安いもんだ。さらにウインナーも5本くらいゴロンと焼いてやるのだ。ちなみに普段は2本きっかりだ。健康にはそのくらいがいいのだろうが、今日は旅行だから暴飲暴食やりたい放題なのだよヤマトの諸君。

そして時は過ぎ、

ここは茅野の山中の奥深く、全国から集まった組員はこのあと三々五々解散となるのだ。さいわい私はここから小一時間も走れば帰宅となるが油断大敵雨あられ、本当に名残惜しいがこの旅も終わりが近い。組長は麦草峠を越えていくらしい。それにしても、件の丸太切りの際、油屋一同心をあわせ！せーのとやんや～したのもあってか、組長が宮崎駿に見えてしまう。大事をなした漢の顔は似てくるのかもしれない。私もいつかはせめて紅の豚くらいの顔つきになりたいものだ。



長惜るこ五国　ヤかい2とらに

くしくも次回11月の組会はまたもや信州の麻績集合らしい。それまでにこの暴れん坊の相棒LC4ことガンシップを乗りこなせてみせるのだ(決意)。りょうふうさんと北脇さんを諏訪インターでお見送りしたら今回の組会も無事終了。みなさんまたいつかどこかで！

記　フガ金井

辰野組会一人一言

●XLがガンダムとしたらLC4はまるで宇宙戦艦ヤマト。よいこらしょっと跨いでセルを回したら、いつも心のなかで「ヤマト発進！」とオープニングテーマが流れてます(笑)。(フガ金井)

●テントと、銀マットを今回新しくしました。天気も良く、快適な組会でした！。(オガタ)

●みんなで開通させた林道、せっかくだからと2度通る組長のお心遣い痛み入ります。(地下鉄)

●久しぶりの組員とも会えた、平穏無事な組会でした。自分が魔法の鍵を持っていたとは…。(カバ)

●3日間好天で良い組会でした。数々の台風の爪痕を突破するための作業がなかなか楽しかったですね！それと、誰かさんの会社のカギでゲートのチェーンのカギもも開いちゃうなんて・・スゴイ・・！(ゴ三浦)

●おろしたての新車で参加した所で普段より上手く走れるわけもなく、いつもより酒が旨くなるわけでもなく。ボロを物色する秋の夜深し。(村松岡)

●久々の塾で、楽しく走れました。今度はいつになるやら・・・(管理人北脇)

●ジムニー！にカマケテ、一年ぶりのバイク旅でした。大らかなXR君、ほぼ放置状態でも林道、高速120km、よく走ってくれました。求む！OZワークスマフラー・ローノイズバッフル、作ってくれても嬉しいー！(りょうふう)

赤貧ブートキャンプinしらびそ 2012最終日レポート

キャンプ地へ帰着後は宴会準備となり、今回は地下鉄さんの真似で天ぷらと唐揚げを振舞おうと準備して来ました。持参の日本酒や芋焼酎を飲み進みながら料理を作り、80年代ソングを聞きながらまったりしていると、今回の最後の来訪者村松岡氏が四国ツーリングの帰路に立ち寄られました。改めて乾杯となりさらに呑み進みますが、ふと気づくと満天の星空が瞬き、下界から花火の音が響き今回のしらびそキャンプの最終夜に相応しく時間が過ぎていきました。

翌朝、少し遅く0650起床し、すでに朝食準備中のお二人にご挨拶しゆっくりと朝食準備を進めていると「このマグカップひらりんのだよね？」と村松岡さんがマグカップをさしだすが、既にマグカップでコーヒーを飲んでいる自分は？？？となる。実は昨年の組会か宴会でこのマグカップが置き去り状態であり、内面の茶渋の付き具合から私の物と推測され(なんと失礼な・・しかし無理もないが(汗))ご親切に村松岡さんがお預かりされて、渡す機会を待ちわびていたのだ。しかも取手のビスまで新しく補修して頂きまして・・感謝です・・と言いたいところだが、今回は無実です(どこかで聞いたフレーズ？)。だって僕のは今手元にあるもん。となるとこれはだれのマグカップ？？？と三人で見つめ合うと突如、「あ、これ俺のかも・・(笑)」と村松岡さんがまさかのカミングアウト・・。なんと、自分のマグカップを後生大事に保管されていたわけですね・・(爆)一同大爆笑となりました。これぞ「さまよえるマグカップ(旅するマグカップ)事件」として寺崎組の新たな伝説として記憶されるでしょう・・。

そんなこんなでそれぞれ撤収準備となり、主催者である赤貧さんがトップバッターとして帰路に着き、我々ひらりん一家も帰路に着きました。途中南信濃の道の駅で入浴をして親子でまったりとしてから、飯田山本ICから高速にて一路大町へ。自宅帰着は1600でした。2年ぶりのしらびそキャンプでしたが、改めて主催の赤貧さんや参加された方に感謝をいたします。また来年の夏空の下でお会いしましょう。

記　ひらりん

蹴りセロー河合のジムニー車中野泊仕様への道

昨今、巷では車中泊Pキャンというジャンルが確立しているようある。一般的に高速SA／PAや道の駅の駐車場等で車内で宿泊するスタイルであるが、寺崎組の組員としては、他の人間からは程よく離れた場所で宿泊したい。

私のジムニーも助手席と後部座席を取り外し、コンパネで自作したベットを設置して完全フラットになるよう改造してあり、そのコンセプトは「車中野泊」仕様を目指しているのだ。

ジムニーそのものをテントとして使用するとしたら、その出入り口としてはバックドアからという事にしたいのである。が、しかし、バックドアは通常は外からの開閉しか出来ないので、車内から外に出たい場合にバックドアを開ける事ができず不便である。

バックドアのドアノブの内部リンクへ、ワイヤーやロッドで物理的にアクセスすれば、ドアラッチが解除できるのではと色々考えてみたが、加工も大変そうだし、加工できても耐久性が低そうな気がするので却下。もっとシンプルで確実な方法は無いかとネットで探してみたら、バックドア内側のサービスホールのフタに四角穴を開けて、レバー状の物を入れて直接ドアノブを動かすというアイデアを発見した。

これなら使える！、という事で寺崎流にアレンジして採用する事にした。加工も簡単で、バックドアのドアノブのちょうど裏側にあるサービスホールのフタの右上角にドリルで10ミリ程度の穴を開けるだけ。その穴に車載工具として常備している150ミリのプライヤの柄を適量差し込んで、上にテコのように上げると、直接ドアノブの裏側にアクセスできるのでバックドアのラッチを解除できるという訳である。仕上げにそこらに転がっていた取っ手をタッピングビスで取り付けて完成。

プライヤとしての本来の機能にプラスして、バックドアのラッチ解除ツールという複数の機能を持たせる、これこそ寺崎イズムである！とかなり自己満足してしまった(笑)ので投稿してみました。

次回は、傾斜地などで勝手に閉まってしまうバックドアの自作固定ツールを紹介します！。

編集後記

ゴ三浦■新聞手伝ったこと、なアベが来た地下■ところでサッカー誰かよ、いれたの？画伯■サコダとヒラリンじゃなくて誰だっけ？ミル■3.3の重車があったっつーのアベ■それはクスワだって何の話だ――？

ヤキリキくん

by画伯